

一般質問という名の政策提案



6月定例会は議員10名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質 問 事 項
さいとう 斎藤 けん謙	1 義務教育学校等について ② 伊達桑折 IC 周辺の企業誘致等について ③ 財政運営等に関して
はんざわ まさ正 沢保	① 人口減少にどう向き合うか ー 選ばれる町への戦略を問う ー
おかもと おか 貴士	① 高橋町長の任期は令和8年9月29日までである。選挙公約の達成状況を伺う。
すずき たか隆 鈴木 志	1 水道水の安全確保に向けた取り組みについて 2 自転車の青切符制度と交通安全教育について ③ 部活動に伴う大会、他校との交流試合による引率体制と安全確保について ④ 農産物に対する雹被害の状況と対策について
はんざわ たかし高 沢	1 「歴史の小径」などの『こおりの小径』に代わる新たな散策・ドライブルートの設定は 2 災害時の避難所におけるペットとの「同行避難」の促進を ③ 指定ゴミ袋の値上げとそのお知らせのあり方、購入数の制限について ④ 小水力発電およびマイクロ水力発電の推進について
かわなみ 川名 静子	① 15歳のめざす姿を実現するためバランスの取れた「知・徳・体」の育成について ② 子ども達の送迎に関する安全対策の考え方について 3 あらゆる災害から命を守る行動や安心して暮らすため自ら災害に備える事について
はねだ 羽根田 ひとみ	1 奥州こおり楽市楽座 with 盆フェスについて 2 半田山山開き次年度の計画について 3 ごみ減量のためのごみ袋の工夫について ④ 廃校となる小学校の活用について ⑤ 献上桃の郷こおりシティプロモーション首都圏進出の進捗状況について
いしはた いし 幡子 まさ政	① 特別な支援を必要とする子どもに対応する学校教育環境の充実について ② 文化財の保護と活用の推進について 3 半田山の森林環境整備と半田山自然公園の活用と PR について
かわむら 川村 道雄 しみづ	① 本町の降ひょう被害について 2 桑折町の教育行政に関連して ③ 教職員の働き方改革について 4 半田山自然公園の認知度向上に関連して
さいとう 斎藤 まつ夫 松	1 行政不服審査法第2条に基づく審査請求に対する裁決書について 2 令和7年10月29日の「非公開での教育委員会開催」と「同会議録公開措置」等について ③ 上水道第5次水道拡張事業に係る国の財政支援等について ④ 熊被害への恒久的対策確立について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。



はん ざわ まさ やす
半沢 正保 議員

質問 人口減少にどう向き合うのか

答弁 持続可能なまちづくりを進める

問 義務教育学校設立によって、どのような教育の質向上を実現し、子育て世代への訴求力を高めていくのかを伺う。

答 桑折町教育大綱基本方針『みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならではの質の高い教育」と評価されるような乳幼児保育・教育や学校教育の

問 本町人口減少の現状認識と将来の見通しを伺う。

答 町長 令和7年度の将来展望11,016人を約300人下回っており、大変厳しい状況にあると受け止めている。今後さらに人口が減少した場合、税収減による行財政運営の硬直化、地域経済の縮小化、生活環境の悪化、教育環境の不安定化など、課題が顕在化していくものと捉えている。

町の人口ビジョンを令和7年国勢調査速報値を元に補正人口作成

年	町想定人口	補正の人口	差
2026	10,920	10,612	▲308
2030	10,537	10,240	▲297
2040	9,569	9,299	▲270
2050	8,737	8,490	▲247
2060	8,108	7,879	▲229

補正方法
2025年の町の想定人口 **11,016人** に対し、令和7年速報値が **10,705人** だったため、補正率を次のように設定しました。
10,705 ÷ 11,016 = 約97.18%
町の将来展望人口を全体的に約 **2.82%** 下方修正しました。

人口ビジョン補正の必要性

問 人口減少問題にどう取り組んでいくのか。町長の決意を伺う。

推進を通して、子育て支援の充実と「桑折町の15歳のめざす姿」の実現に努める」を核として、選ばれる学校となるよう教育の質向上を図り、子育て世代の転入し寄与していく。

答 町長 人口減少問題は、もはや本町のみならず、我が国全体が直面する大きな潮流であり、今後も避けては通れない政策課題であると受け止めている。

私は、引き続き、総合計画の着実な推進を通して、「子どもたち夢を、若者に希望を、

現役世代に豊かさを、そして高齢者にやさしさを」をスローガンに掲げ、「桑折人」としての矜持（プライド）と気概を次代へと紡ぎながら、みんなが幸せを実感できる元氣なまち「こおり」の実現に向け、全力で行政執行にあたっていく。



幸せが実感でき、持続可能となるまちへ（2025撮影）



さい どう けん
齊藤 謙 議員

質問 伊達・桑折 IC 周辺のインフラ整備は

答弁 民間主導による事業者の経営判断

問 三角地区に企業誘致を進めているようだが、その進捗状況は。

答 町長 民間主導による開発が進められてきたものの、企業誘致が難航していることから「第2期福島県県北地域基本計画」との整合性を測ることが難しい状況にある。

問 三角地区のインフラ整備事業は仮称観光センター設置の為の実質公債費が10%を超える予想があるため、インフラ整備事業は中止すべきである。

答 町長 開発事業については、民間主導であることから、事業の推進、変更、または中止の判断は、事業者の経営判断に基づく。

質問 義務的経費のバランスを

答弁 相互的に勘案する

問 財政運営等に関して、原油の入荷がイラン戦争により、思うように進まないでいる。因って、諸物価の高騰が予想される。国内外とも四苦八苦している状況にある。桑折町も同様と思われる。桑折町は義務的経費の改善策を講ずる必要がある。扶助費は類似団体と比較しても低い状況にあるため、町民の税収をもっと町民の為に使う必要がある。

答 町長 義務的経費は引き続き、経常収支比率や実質公債費比率、将来負担比率などの複数の財政指標を総合的に勘案し、社会保障需要の増加と財政の持続可能性のバランスを考

慮しながら適正な額を確保していく。

これも 質問

問 義務教育学校の住民合意は「設置だより」で知らせている

性 質 別 歳 出 の 状 況		(単位：千円・%)			
区 分		決 算 額	構 成 比	充 当 一 般 財 源 等	経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等
人 員 費		1,467,954	23.0	1,245,415	1,213,811
うち 職 員 給 費		805,677	12.6	684,710	-
扶 助 費		741,738	11.6	331,905	175,071
公 債 費		442,706	6.9	420,986	418,857
内 元 利 償 還 金	{ 元 子	430,425	6.7	410,036	407,907
借 入 金	利 子	12,281	0.2	10,950	10,950
義 務 的 経 費 計		2,652,398	41.6	1,998,306	1,807,739
物 件 費		1,195,529	18.7	894,512	716,332
維 持 補 修 費		51,167	0.8	47,613	41,177
補 助 費		879,136	13.8	764,804	558,447
うち 一 部 事 務 組 合 負 担 金		339,438	5.3	339,438	339,430
繰 上 出 金		577,266	9.1	481,224	364,100
積 立 金		157,158	2.5	21,343	-
投 資 的 経 費		43,500	0.7	13,500	-
前 年 繰 上 出 金		820,676	12.9	253,846	-
普 通 建 設 費		35,180	0.6	35,180	-
内 うち 補 修 費		456,242	7.2	35,384	-
災 害 復 旧 費		353,238	5.5	215,066	-
出 発 費		-	-	-	-
計		6,376,830	100.0	4,475,148	4,750,865

義務的経費のバランスを（令和6年度決算カードより）



鈴木 隆志 議員

質問 部活動引率体制に伴う安全確保は

答弁 計画に則り校長の許可のもと実施

問 部活動引率体制は、各部の顧問から提出された大会参加計画に則り、校長の許可のもと安全確保に努めている。

答 教育長 引率体制は、各部の顧問から提出された大会参加計画に則り、校長の許可のもと安全確保に努めている。



引率者による点呼・確認のもと、安全に出発

問 大会等の校外活動に伴う移動手段と引率体制の安全確保に向けた取り組みは。

答 教育長 校外活動については、通常、引率教師の車に同乗させることなく、それぞれの保護者が車で、現地集合しており、中体連や音楽祭などの大会やコンクールに参加する際は、民間貸切バスで各部ごとの教師が同乗して引率し安全確保に努めている。

問 校外活動時の児童生徒の安全の確保について作成している「危機管理マニュアル」の保護者への説明は。

答 教育長 PTA総会等の機会を捉え校長から、保護者に対して説明している。

質問 降ひょう被害に対する町の対応は

答弁 支援パッケージでの対応を進める

これも質問

問 水質検査基準値超過時の水道水の供給確保は配水システムの切り替えで供給体制確保している。

答 自転車青切符制度導入に伴う制度周知指導は広報等での周知と交通ルールの指導に努める。

問 降ひょうによる農産物被害に対する町の対応は。

答 町長 果実の生育の今後の推移を見守るとともに、規格品及び被害果の予想収穫量等を勘案しながら農家の減収が最小限にとどめられるように、県及び両農協との方針等を協議して対応していく。

問 農産物被害農家の営農継続に向けた町の支援体制は。

答 町長 被害農家が営農継続に向け来年度以降の再生産に取り組む意欲を失うことのないよう、県に強く要請した結果、今月8日付けで、支援パッケージが示されたことから、両農協と連携し農産物被害に対応していく。

問 農産物の規格外やキズ物に対する販売促進に向けた対応は。

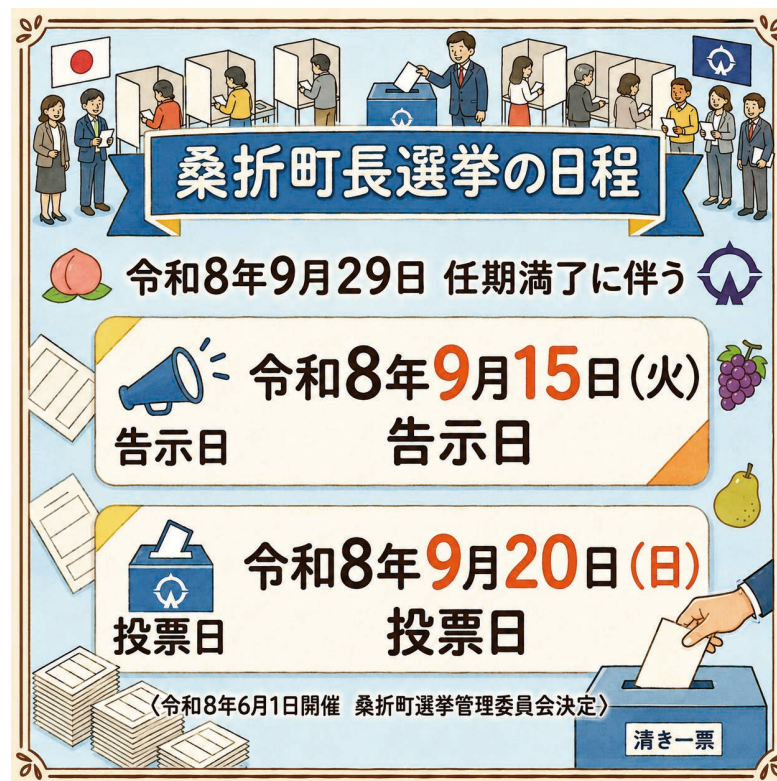
答 町長 市場でどのように販売していくのかについては両農協と意見交換しながら対応していく。



岡本 貴士 議員

質問 選挙公約の達成状況を伺う

答弁 概ね高い水準で達成



問 令和8年9月で任期満了となるが、4期目に掲げた選挙公約の達成状況を伺う。特に成果のあった施策と、課題が残る施策をどう認識しているか。

答 町長 公約は「6恵6幸こおり 未来プラン」の着実な推進を掲げ、邁進してきた。福

問 島蚕糸跡地の活用、給食費完全無償化、「献上桃の郷」を活用した農業所得向上など、住民の心地のよい町として高い評価を得るに至った。概ね達成は高いところにあると評価している。

答 町長 最も成果が上がった施策と、課題が残る施策は何

問 十数年未利用だった福島蚕糸跡地の活用が、最大の成果である。一方、伊達桑折インターチェンジ周辺は、企業誘致が難航し課題が残る。深刻な少子化と人口減少への歯止めが、将来における重大な課題と捉えている。

答 町長 義務教育学校の基本構想・基本計画の決定、(仮称)歴史観光交流センターの建設推進、降ひょう被災農家への支援、有害鳥獣対策の強化など、喫

問 任期満了までに取り組みべき課題は。

答 町長 義務教育学校の基本構想・基本計画の決定、(仮称)歴史観光交流センターの建設推進、降ひょう被災農家への支援、有害鳥獣対策の強化など、喫





かわ な しず こ
川名 静子 議員

質問 目の酷使は視力低下になるのでは

答弁 2時間以内を望む指導をしている



大切に使いこようね！

問 15歳のめざす姿を実現するため「知・徳・体」のバランスが取れた育成がなされているか。

答 教育長 昨年の学力テスト結果を踏まえた具体的指導と目標は。

問 ストレスを踏まえた具体的な指導と目標は。

答 教育長 問題形式や時間配分に慣れるよう過去問題にも取り組んだ。目標は自己の力を一杯発揮し学習成果を出す。教育委員会の目標は学年平均が県平均を上回る事だ。

問 体力面で「走・投・跳」のバランスはとれているか。

答 教育長 敏捷性、瞬発力、柔軟性は全国平均より優れたが小・中学校共走る種目が課題となったことから、各校の実態に合わせ全校で走る時間を設定した。タブレット導入による効果が入る一方視力低下に繋がっていないか。また予防への事例「三神ストレッチ」等を探り入れている。

問 本町小学生の裸眼視力1・0未満の割合は27・4%、県の40・2%より低い。中学生が62・0%と高い事から長時間連続使用を控える指導をしているか。

これも質問

問 部活遠征時の保護者送迎の責任は誰が負うのか。学校と協議し検討する



はん ざわ たかし
半澤 高 議員

質問 指定ゴミ袋の値上げはなぜ

答弁 ナフサ不足による原材料価格高騰



指定ゴミ袋の供給は？

問 7月から指定ゴミ袋が値上げになるが、中東情勢の混乱によるナフサの供給不足が主な要因なのか伺う。また、ナフサが十分に供給されるまで回復したときには、値下げはあるものなのか伺う。

答 町長 指定ゴミ袋の価格改定については、伊達地方衛生処理組合から「ナフサ不足に伴う原材料価格の高騰によるものであり、ナフサの調達状況が回復した際には、ゴミ袋供給事業者と改めて協議を行う」と説明を受けている。

問 一部店舗での指定ゴミ袋の在庫が少なくなっているが、購入できなかった場合の対応は考えているのか。

答 町長 伊達地方衛生処理組合において、6月30日までの臨時措置（透明または半透明の袋などにマジックなどで排出するごみの種類を記載して出す）を講ずることとした。

質問 小水力発電に関する調査は

答弁 調査したが事業化は困難と判断



かつて半田银山には

問 「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画」では、水力の有効利用としてマイクロ水力発電の導入に向け、県の事業等を活用して産ケ沢川等のポテンシャル調査等に取り組むとあるが、調査はどのように進められているのか伺う。

答 町長 小水力発電については、うぶかの郷周辺の産ケ沢川において、令和4年度に県の「福島県地域再生エネルギーポテンシャル調査事業」を活用し、調査を実施した経過があるが、当時、費用対効果の面から事業化は困難と判断した。

これも質問

問 新たな散策・ドライブルートの選定は「歴史観光交流センター」プレオープンまで災害時におけるペットとの同行避難は今後、対応について調査・研究する



石幡 政子 議員

質問 特別支援学級の支援体制は

答弁 特別支援学級の体制は充実している



しっかりと寄り添う特別支援

問 在籍児童生徒の急増による教室、教員不足が懸念されるが、本町の現状は、また今後増加を予測した体制整備について伺う。

答 教育長 特別支援体制は現在教室、教員ともに充足している。今後対象児童生徒が増加した場合は迅速に対応できる体制を確保している。

問 支援を必要としている児童生徒に対し教育支援計画は形骸化していないか。

答 教育長 担任が一人ひとりの計画を保護者の意見も参考にしながら支援ソフトを活用して作成している。個人の成長に合わせ常に実態に合った目標を設定し、指導にあたっている。

問 通常学級との連携の質を高め合理的な配慮はなされているか。

答 教育長 授業を通じて担任同士や支援員が情報を共有しながら個別の指導計画に基づき合理的配慮に努めている。

これも質問

問 半田山森林整備と公園のPRは計画的な森林整備とイベント実施でPRする

質問 旧伊達郡役所の今後の活用は

答弁 芸術性の高いものを企画していく

問 チケット販売方法は初めてインターネットを利用したが問題はなかったか。

答 教育長 過去の実績を参考にしたが、今後の利活用に向けた実証実験としては、一定の成果を収めたと思えている。

問 150の席数は妥当であったか。

答 教育長 過去の実績を参考にしたが、今後の利活用に向けた実証実験としては、一定の成果を収めたと思えている。



文化財の利活用をすすめる

問 円滑な販売に繋がった。アンケートを実施したがその内容について伺う。

答 教育長 「郡役所の空間とクラシックの調べが相まって美しかった」「一流の演奏家の演奏を今後も開催してほしい」等高い評価と今後の期待が寄せられた。



羽根田 ひとみ 議員

質問 新たなシティープロモーションは

答弁 有楽町駅の大画面と全国放送で



有楽町駅前大型ビジョン

問 献上桃の郷こおりシティープロモーションは昨年まで仙台圏を中心に進め効果があつた。今年はそれに加え首都圏にも進めるとのこと。期待をしている。大型ビジョンはいつからどこで放映されるのか。

答 町長 7月6日より東京有楽町駅ビックマルチビジョン・13日より仙台駅Biviビジョン・20日より仙台駅エスパルビジョンでそれぞれ2週間放映する。また有楽町駅で物販も行う。

問 全国放送のテレビ番組は何か。いつ放送され、どのような内容か。

答 町長 現在、具体的な内容は明らかにできないが、7月下旬、全国ネットの休日朝の人情情報番組で、桃を中心とした本町の魅力を発信する内容だ。後日周知する。

問 楽天イーグルス観覧企画に子どもを参加させることについては進んだのか。

答 町長 10名の子どもが選手と一緒に入場。始球式では町内野球チームの選手に授けてもらう準備をしている。

質問 廃校舎の活用法広くアイデアを

答弁 民間も視野に検討する提案を頂く

問 2030年に義務教育学校が開校予定であり、4つの小学校は廃校の見込みだ。他自治体では、廃校施設を町による管理だけでなく民間事業者や個人による活用事例がある。より良い活用法を検討するために、早い段階から町民や民間業者などから幅広くアイデアを募集してはどうか。

答 町長 老朽化の状況や維持管理費用、地域の実情などを総合的に勘案し、民間による利活用の可能性も視野に検討する提案を頂く。

問 廃校は卒業生にとつてさみしい思いをされる。校歌の歌碑を作ってほしい。

答 町長 そのように考えている。

これも質問

問 8月29日開催盆フェスは町民参加型に多くの方に参加してもらうために団体賞も半田山山開きノベルティ・スタンプラリーは好評だったため来年も実施。数は同じで、ごみ軽減意識改革の為小さいサイズのごみ袋を小さな袋に対する需要は無いので考えていない



さいとうまつお 齋藤 松夫 議員

質問 料金据え置き第5次拡張事業を

答弁 国補助等は基本計画策定後に検討

令和8年度 上下水道関係予算の概要

- I. 令和7年度 上下水道関係補正予算の概要
- II. 令和8年度 上下水道関係予算の概要
- III. 新規事項
- IV. AB-Cross（上下水道一体革新的技術実証事業）

時期を失せぬ情報収集で水道料金コスト抑える対策を

総務省繰出基準等が適用されるか否かについて県と協議することとなる。基本計画策定事業費は、総務省の繰出基準の対象外で交付税措置はない。

問 第5次水道拡張事業は可能な限り早期着手とすべきだ。同時に、水道料金引き上げを招かない財源対策が必要不可欠だ。そのためには、国庫補助及び地方交付税措置など、国からの財政支援を引き出すための取り組みが必要でありすみやかに着手すべきだ。所見はどうか伺う。また基本構想・基本計画策定事業費を一般会計で予算化した。これは水道事業への一

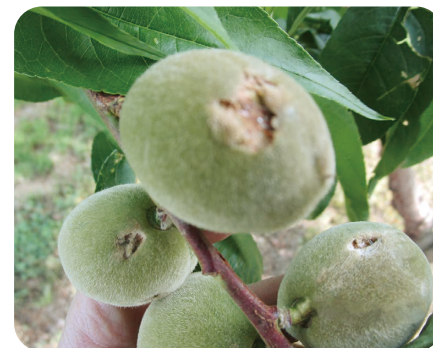
答 町長 第4次拡張事業の企業債償還が残っており、料金引き上げを避けるために、令和12年度に水道事業変更認可申請を行い、同13年度工事着工の予定で進めている。財源については、基本計画策定後に各種国庫補助や、



かわむらしげみち 川村 滋道 議員

質問 降ひょう被害者に具体的な支援策を

答弁 関係機関と相談し検討したい



降ひょう被害で傷ついた桃の果実



葉や枝折れで今年の収穫は見込めない葡萄畑

問 降ひょう被害の大きかった北沢地区では「桃の8割以上はやられた」という方が多い。「献上桃の郷」のブランドを持つ本町ではふるさと納税で桃は多大な貢献をしてきた。故に降ひょう被害の果樹生産農家へ、ふるさと納税で得た財源の一部を使い積極的支援策として本町の独自の災害特別融資制度や被害者への見舞金を実施しては如何か。

答 町長 両農協とも情報共有し被害実態の調査を行った。本町の被害割合38・2%、被害額4億2,530万4千円と莫大だ。次に多いのが葡萄で被害割合57%で被害額2,293万8千円だ。県の支援パッケージも示されたので本町でもどのような支援が出来るか検討したい。災害特別融資制度は考えていない。

これも質問

問 審査請求棄却の裁決書撤回を求める取消しは書面にて教示した通り

答 小中学校あり方検討報告も非公開はなぜか途中経過のため教育委員会を非公開にした

質問 人と熊住み分けの専門的知見は

答弁 相互競合により技術的に困難

問 3月定例会一般質問で、人と熊の住み分け実現のため、「緩衝帯とセットの電柵設置」を提言。その答弁を踏まえ、予算質疑の中では「杉木立構想検討」も提言した。これに対し「生物学的見地からの専門家のお話を伺ってみる」との答弁を得た。どのような知見を得ることができたか伺う。

答 町長 杉林による対策については、福島県北森林組合に専門的知見を求めたところ「樹木の相互競合により、生育不良が生じることから、技術的に困難である」との回答を得た。

質問 教職員の80時間超勤務者数は

答弁 月80時間超え教員は23名

問 80時間を超える時間外勤務を行った教職員は、医師（産業医など）による面接指導を受ける事が義務である。労働安全衛生法では本人の申し出があった場合「が義務だが近年の教職員の働き方改革に伴い多くの自治体の教育委員会や学校では「申し出の有無に関わらず80時間を超えたら全員面接を必須（実質的な義務とする）」と法律を上回る厳しいガイドラインや安全衛生管理規定を設けている。又校長や教頭などの管理職は客観的な方法で教職員の残業時間を管理し上限を超えない業務量管理が求められるが本町では如何か。

答 教育長 令和7年ではのべ23名実質11名が該当。医師の面談は行っていない。事例があった場合は人事評価の面談や業務改善のアドバイスを含む指導を行っていた。

これも質問

問 半田山愛草会の貢献について

答 景観向上や来場者数の増加に貢献いただいた宮城県色麻町義務教育学校見学の成果は「義務教育学校設置だより」で逐次お知らせする